

札幌市略年表

年号	札幌市の沿革	国内の主な出来事
16000年前	旧石器文化	
8000年前	縄文文化（丘陵部に多くの人々が生活する）	
0～7世紀	続縄文文化（現在の市街地まで生活の範囲が拡大）	倭奴国王、後漢に遣使、光武帝の印綬を受く（57年）。
8～13世紀	擦文文化（植物園、北大から麻生まで集落が広がる）	平城京遷都（710年）。 源頼朝が征夷大將軍に任命される（1192年）。
13世紀～	アイヌ文化	足利尊氏が征夷大將軍に任命される（1338年）。
寛文9年 （1669）	アイヌ民族と和人との戦いに関する津軽藩の記録に、札幌市域に首長ヨウタイン、チクナシの二つの勢力があったことを記す。	徳川家康が征夷大將軍に任命される（1603年）。
元禄13年 （1700）	松前藩、幕府に松前島絵図を呈上。製作年代のはっきりしている地図で札幌市域の地名が載った最初。	赤穂浪士の仇討（1702年）。
元文年間 （1736～40）	石狩十三場所に場所請負制導入。	徳川吉宗、享保の改革（1716～1745年）。
宝暦2年 （1752）	材木商飛騨屋久兵衛、石狩山で伐木を開始。札幌市域は伐出場所と河口の木場をつなぐ交通の要路。	
文化4年 （1807）	東蝦夷地の幕府直轄（1799）に続き、西蝦夷地も幕府直轄に。石狩十三場所のアイヌ民族の人口2,285人（西蝦夷地日誌）、この後、労働力の強化や疱瘡の流行のために減少の一途をたどり、安政元年（1854）には670人（蝦夷日誌）。	外国船打払令（1825年）。
安政4年 （1857）	発寒村に「在住」入居。「札幌越新道」（銭函～豊平～千歳～勇払）開削を行う（後、志村鉄一、吉田茂八 豊平川の通行屋守となる）。	ペリー、浦賀に来航（1853年）。
5年	早山清太郎、琴似で稲作を開始。松浦武四郎、温泉（後の定山溪温泉）発見、後、早山清太郎・美泉定山などが経営。	日米修好通商条約締結。安政の大獄が始まる。
万延元年 （1860）	石狩役所調役荒井金助が自費で農夫を募り篠路に入植させる。	桜田門外の変。

略年表

年号	札幌市の沿革	国内の主な出来事
慶応2年 (1866)	大友亀太郎、御手作場を開き、大友堀（後の創成川）開削。	薩長同盟を結ぶ。
明治元年 (1868)	札幌村の家数23軒、人口98人（男54人、女44人）。	戊辰戦争がおこる。五箇条の御誓文発布。
2年	開拓使が設置され蝦夷地を北海道と改称。島判官が札幌本府建設に着手。	版籍奉還。
3年	島判官東京召還になり本府建設中止。移民118戸が苗穂、丘珠、円山、札幌新村に入植。札幌～有珠間の「本願寺街道」開削指令。	
4年	岩村判官札幌に赴任し札幌本府建設再開。開拓使仮本庁舎しゅん工。開拓事業の本拠地が函館から札幌へ移転。奥羽地方の移民が月寒、平岸、白石などに入植。資生館（現資生館小学校）完成。薄野遊郭設営。	廃藩置県。身分制度を廃止。郵便制度開始。
5年	札幌本道（札幌～函館間）の開削に着手。札幌開拓使庁を札幌本庁と改称。簾舞に官営の休泊所が開設。	新橋～横浜間に鉄道開通。
6年	札幌に正権区長を置き札幌郡を管轄。新白石村が開かれる。	太陽暦施行。徴兵令を発布。
7年	屯田兵制度制定。札幌官園で牛、馬、羊などを飼育。大小区制施行。札幌郡を第1大区とし札幌市街は3小区に分けられる。札幌神社（現北海道神宮）の大祭を毎年6月15日に定める。豊平川堤防築造。札幌電信局開設。	板垣退助らが民撰議院設立の建白書を提出。
8年	最初の屯田兵として琴似に198戸が入植。東京の開拓使仮学校が札幌に移り札幌学校となる。	ロシアと樺太千島交換条約に調印。
9年	山鼻に240戸、発寒に32戸、琴似に3戸の屯田兵が入植。クラーク札幌着任。札幌学校が札幌農学校と改称。札幌麦酒醸造所、牧羊場、養豚場を官設。	日朝修好条規締結。
10年	札幌味噌醤油醸造所開設。クラークが帰国。	西南戦争勃発。
11年	札幌農学校演武場（現時計台）完成。第1回北海道農業博覧会を札幌で開催（第1回の試みとして出品内容を限定）。	
12年	開拓使庁舎焼失。郡区町村編成法により札幌全郡が区となる。札幌区役所庁舎（現南2西5）落成。	
13年	山崎清躬、札幌区長任命。札幌区役所分掌決定。札幌区役所開庁。札幌最初の新聞「札幌新聞」発行。手宮～札幌間に鉄道開通。清華亭建築。	国会期成同盟ができる。

年号	札幌市の沿革	国内の主な出来事
明治14年 (1881)	札幌市街の町名を条丁目に変更。豊平館落成。明治天皇初の行幸。	
15年	開拓使を廃止し札幌、函館、根室の3県を設置。いなご飛来、被害甚大。札幌～幌内間に鉄道開通。	日本銀行開業。
16年	司典社（私設図書館）の設立。	
17年	札幌郡区役所の管轄地を変更し、諸村を札幌郡役所管轄、札幌市街のみを札幌区とし札幌区役所が管轄。	
18年	東京から函館・札幌・根室に達する道路を国道とする。停車場通にアカシヤなどの街路樹を植樹。札幌市街の大下水（後に新川と呼ぶ）開削。	内閣制度が制定され、伊藤博文が初代内閣総理大臣となる。
19年	3県が廃止され北海道庁設置。官営工場、農牧場などの払下げ、貸下げ処分着手。県師範学校を廃し、北海道師範学校（現教育大学）を設置。札幌近傍の原野大排水工事開始。琴似新川（現創成川の麻生以北）の開削。	学校令により義務教育4年制に。
20年	新琴似に146戸の屯田兵が入植。札幌麦酒醸造所を民間に払下げ札幌麦酒会社と改称。北海道製麻会社設立。札幌市街の道路、下水の開削開始。琴似川小樽内川間大排水（現新川）開削。	
21年	新琴似に74戸屯田兵入植。北海道庁赤レンガ庁舎完成。	市制および町村制公布。
22年	桑園に蚕業伝習所を設置。北海銀行設立。篠路村に220戸の屯田兵入植。	大日本帝国憲法発布。
23年	札幌病院が札幌区に移管。区役所庁舎新築（大通西3）移転。	最初の総選挙実施。第1回帝国議会。
24年	札幌に初めて電灯点灯（110戸540灯）。	
25年	札幌大火887戸焼失。区役所などの官公署も焼失。	
26年	稲作試験場を開設。札幌区役所を大通西3に再建。札幌興農園設立（五番館の前身）。	
27年	遠友夜学校が設立。札幌～定山溪～虻田間の道路が完成。	日清戦争勃発。
28年	庁立札幌尋常中学校（現南高校）開校。	下関条約（日清講和条約）調印。
29年	札幌貯蓄銀行設立。第7師団が札幌に設置。	

年号	札幌市の沿革	国内の主な出来事
明治30年 (1897)	札幌～茨戸間、花畔～銭函間運河しゅん工。	
32年	札幌・函館・小樽に北海道区制実施。豊平川遊泳場を開設。	
33年	北海道拓殖銀行開業。札幌市内の電話通信開始。	義和団事件に出兵。
34年	第1回北海道議会議員選挙実施。北海道毎日・北門新報・北海時事が合併し、北海タイムス社創立。	
35年	豊平村（もと豊平・月寒・平岸各村）、手稲村（もと上下手稲・山口各村）、白石村（もと白石・上白石各村）、札幌村（もと札幌・苗穂・丘珠・雁来各村）に二級町村制実施。本道初の衆議院選挙を実施。	日英同盟締結。
36年	札幌農学校を現在の北海道大学構内へ移転。	
37年	屯田兵条例廃止。	日露戦争勃発。
39年	藻岩村（もと円山・山鼻各村）、琴似村（もと琴似・発寒各村）、篠路村に二級町村制実施。篠路兵村を琴似村に合併。農商務省月寒種羊場設置。札幌商業会議所の設立認可。	鉄道国有法発布。
40年	豊平村に一級町村制実施。札幌区大火、区庁舎、警察署をはじめ民家336戸焼失。札幌農学校が東北帝国大学農科大学に改称。北海道製麻、日本製麻と合併により帝国製麻会社設立。	義務教育が6カ年になる。
41年	豊平に町制施行。札幌煙草元売会社設立。野幌原始林が林業試験場試験林となる。	
42年	豊平川大洪水で850戸浸水。北海道庁焼失。定山溪発電所完成。区庁舎を北1西2に新築。石山～札幌間に馬車鉄道による貨客輸送開始。鉄道院札幌工場（苗穂工場）設立。	
43年	札幌区と豊平町、白石村、札幌村、藻岩村、琴似村との間で境界変更。円山公園開園。	日韓併合条約に調印し韓国を朝鮮と改称。
44年	北海道瓦斯会社創立。大通に公園設備が加えられ、大通逍遙地（現大通公園）ができる。札幌市徽章を制定。北6西1～茨戸間に馬車鉄道営業開始。	
大正元年 (1912)	札幌市街の馬車鉄道営業開始。札幌に初めてガス灯点灯。	明治天皇崩御。第1次護憲運動始まる。
2年	西山造林事業開始。大凶作により不況。隼号飛行大会（飛行は失敗、北10東1）。鳳号飛行大会（月寒錬兵場）。	

年号	札幌市の沿革	国内の主な出来事
大正3年 (1914)	北海道師範学校を札幌師範学校と改称。早鷹号飛行会（北15西4）。	第1次世界大戦勃発。
4年	円山、藻岩山が原始保安林に指定。	21カ条要求に基づき日華条約調印。
5年	豊羽鉱山で精錬開始。米人スミスが札幌で飛行公開。今井呉服店が百貨店として開業。	
6年	白石村の一部が江別町に編入。	
7年	農科大学が東北帝国大学から分離し、北海道帝国大学と改称。開道50年記念北海道博覧会開催。札幌電気軌道（株）が電車運行開始。札幌開府50年記念式挙行。定山溪鉄道開通。	富山県で発生した米騒動が全国各地に拡大。原敬の政党内閣成立。
8年	公設第一小売市場を設置。	パリ講話会議にてベルサイユ条約調印
9年	第一公設市場内（南2東1）に区立職業紹介所設立。札幌区立体育所を開所。薄野遊郭が白石に移転し札幌遊郭と改称。	国際連盟に加入。第1回メーデーが行われる。第1回国勢調査実施。
10年	円山、藻岩山の原始林が天然記念物に指定。豊平館が札幌区に移管。	ワシントン軍縮会議で4か国条約成立。
11年	市制施行（札幌、函館、小樽、旭川、室蘭、釧路）。	
12年	初代市長に高岡直吉が就任。都市計画法適用。工業試験場設置。札幌乗合自動車（株）のバス営業開始。	関東大震災発生。
13年	豊平橋が永久橋化。北3西4道路（道庁前）と豊平橋詰を舗装。	第2次護憲運動開始。
14年	狸小路西2～4丁目を舗装。札幌盲学校、聾学校設立。不況のため、会社倒産が続出。	普通選挙法公布。ラジオ放送開始。
15年	普通選挙による市会議員選挙を実施。札幌～東京間電話開通。下水道5カ年計画開始。	大正天皇崩御。
昭和2年 (1927)	札幌都市計画区域の決定。公会堂として豊平館新館しゅん工。市電営業開始。北海タイムス、北24西5に飛行場設置。	東京で地下鉄開通（上野～浅草）。
3年	札幌中央放送局がラジオ放送開始。	
4年	中島公園にプール設置。	世界金融恐慌発生。

年号	札幌市の沿革	国内の主な出来事
昭和5年 (1930)	市営バス事業開始。	
6年	大倉シャンツェしゅん工。	満州事変勃発。
7年	札幌駅西側の西5丁目に跨線橋完成。	五・一五事件発生。
8年	北海タイムスの飛行場を逋信省航空局札幌飛行場として整備。都市計画用途地域を決定。豊平館が史跡名勝記念物に指定。	
9年	札幌村の一部を札幌市に編入(字札幌村、苗穂村、雁来村)。円山総合グラウンドがしゅん工。大通小学校が学校給食を開始。	国際連盟を脱退。
10年	青年学校10校が開校。	
11年	札幌観光協会の設立。札幌市商業振興委員会設立。都市計画街路事業の開始。	二・二六事件発生。
12年	札幌新交響楽団が結成。市役所庁舎落成(北1西4)。市営上水道営業開始。東京～札幌間定期航空運行開始。第5回冬季オリンピック大会札幌開催決定(翌年返上)。	日中戦争勃発。日独伊三国防共協定締結。
15年	公区・連合公区の設置。札幌に北部軍司令部を設置。第5回国勢調査(函館を抜き、人口全道一)。	日独伊三国同盟調印。大政翼賛会発足。
16年	円山町と合併。し尿処理が市営化。大凶作のため各学校で給食を実施。	太平洋戦争勃発。
17年	日本銀行札幌支店開設。市民課および軍人援護係新設。琴似村が手稲村と境界を変更して町制施行。道内の日刊紙11社が統合して北海道新聞社を設立。	ミッドウェー海戦で大敗。
18年	1・2級町村制を廃して改正市制町村制を実施。	学徒出陣開始。
19年	市の機構を大改革(防衛課を新設)。平岸火葬場開設。	学童の集団疎開始まる。
20年	東京戦災者が手稲その他に入植開始。復員相談所を開設。進駐軍司令部が設置。	ポツダム宣言を受諾し、無条件降伏。
21年	第1回市民運動会開催。市税大幅改正実施。札幌商工会議所設立。	日本国憲法公布(翌年施行)。農地改革実施。
22年	地方自治法施行、初の公選市長に高田富與就任。機構改革(1局5部24課21出張所)。	教育基本法公布。6・3制教育開始。

年号	札幌市の沿革	国内の主な出来事
昭和23年 (1948)	札幌市警察・消防本部を設置。市立保健所発足。	
24年	札幌市創建80周年、自治制施行50周年記念行事開催。新規事業5カ年計画案樹立。第4回国体スキー大会開催。	湯川秀樹にノーベル物理学賞（日本人初）。
25年	第1回札幌雪まつり開催。札幌村の一部編入、白石村と合併。弘報「さっぽろ」創刊。	
26年	広島村一部編入。円山動物園開園。福祉事務所開設。	サンフランシスコ平和条約・日米安全保障条約調印。
27年	第1回市民スケート大会開催。札幌市教育委員会設置。第1期北海道総合開発第1次5カ年計画の策定。	
28年	札幌～千歳間弾丸道路舗装完成（国道36号）。	NHKがテレビ放送開始。
29年	世界スピードスケート選手権大会開催。狸まつり、夏まつり初開催。騒音防止条例制定。不況のため中小企業の倒産続出。	陸海空自衛隊発足。
30年	琴似町、札幌村、篠路村と合併。江別市との境界を一部変更。札幌市東京連絡事務所開設。北光処理場完成。新都市計画街路決定。	
31年	NHK札幌放送局がテレビ放送開始。	日ソ共同宣言。国際連合に加盟。
32年		南極に昭和基地建設。
33年	豊平館、中島公園内に移築。札幌テレビ塔完成。藻岩山観光道路、藻岩山ロープウェイ営業開始。北海道大博覧会開催。市民会館新館開館。	東京タワー完成。
34年	ポートランド市と姉妹都市提携調印。第1回札幌ライラック祭り開催。中央卸売市場開設。	上皇（当時皇太子）御成婚。安保闘争。
35年	札幌市重要事業10カ年計画実施に着手。仲よし子ども館開設。市民の投票により札幌の花（スズラン）、木（ライラック）、鳥（カッコウ）を決定。	日米新安保条約調印。池田内閣が所得倍増計画を立てる。
36年	豊平町と合併。札幌市民交響楽団（現札幌交響楽団）結成。	
37年	交通安全都市宣言を行う。衛生試験所（現衛生研究所）設置。煤煙防止条例制定。	
38年	市民憲章制定。道路緊急整備3カ年計画事業に着手。	

年号	札幌市の沿革	国内の主な出来事
昭和39年 (1964)	道央地区が新産業都市区域に指定（札幌市ほか5市12町1村）。豊平館が重要文化財に指定。市内小・中学校にミルク給食を開始。市民の歌、市旗制定。	東海道新幹線開通。東京オリンピック開催。
40年	札幌市建設6年計画着手。社会福祉センター開館。	日韓基本条約調印。
41年	第11回冬季オリンピック大会の札幌開催が決定。市立図書館、中央体育館新築開館。	
42年	手稲町と合併。	
43年	札幌市創建百年、開道百年の記念行事開催。北海道大博覧会開催。	小笠原諸島返還。
44年	初の市民歩く運動開催。定山溪鉄道、鉄道の営業廃止。	東名高速道路開通。
45年	時計台が重要文化財に指定。人口100万人突破。大倉山ジャンプ競技場完成。	日本万国博覧会、大阪で開催。
46年	札幌市長期総合計画（平成2年目標）策定。地下鉄南北線開通。市役所新庁舎、札幌地下街完成。70歳老人医療費無料化実施。北海道開拓記念館開館。	
47年	第11回冬季オリンピック大会開催。政令指定都市へ移行し、7区役所開設。ミュンヘン市と姉妹都市提携調印。ごみの無料収集開始。公害防止条例制定。市民芸術賞創設。	沖縄返還。日中国交正常化。
48年	札幌市資料館オープン。豊平峡ダム完成。大気汚染総合監視センター開設。公募市債を発行。小樽市の一部編入。	第1次オイルショック。
49年	消費生活安定条例制定。丘珠獅子舞を札幌市無形文化財に指定。豊平保健所完成により1区1保健所実現。	
50年	身障者福祉モデル都市指定。70歳以上老人の市電・市バス無料制実施。札幌市中小企業共済制度実施。	沖縄海洋博開催。
51年	新札幌市長期総合計画策定（平成7年目標）。地下鉄東西線開通。	ロッキード事件発生。
52年	札幌市5年計画（51～55年度）策定。緑化推進条例制定。教育文化会館、道立美術館開館。札幌市消費者センター開設。「さっぽろ文庫」第1巻発刊。札幌村郷土記念館開設。	200カイリ宣言。王選手ホームラン世界記録樹立。
53年	時計台創建百年記念行事開催。身体障害者福祉センター開設。地下鉄南北線北24条～麻生間開通。札幌市創建110年記念行事開催。鉄道高架起工（函館本線と札幌線合計約9.2km）。	日中平和友好条約調印。

年号	札幌市の沿革	国内の主な出来事
昭和54年 (1979)	緑のセンター開設。子ども図書館開設。28年ぶりに豊平川にサケ遡上。水質試験所完成。神戸市の人口を抜く（全国第6番目の大都市）。	第2次オイルショック。
55年	第2次5年計画（55～59年度）策定。瀋陽市と友好都市提携調印。冬のスポーツ博物館開館。	
56年	都市景観委員会発足。青少年科学館開館。婦人文化センターオープン。中央区民センターがオープンし、全区に区民センター設置完了。老人福祉センター完成。	
57年	区制施行10周年。北方都市会議（第1回）開催。地下鉄東西線白石～新さっぽろ間開通。ていねプールオープン。姉妹都市提携10周年記念ミュンヘンウィーク開催。市民ギャラリーオープン。北海道大博覧会開催。	東北・上越新幹線開通。
58年	環状夢のグリーンベルト、地下鉄東豊線起工。交通事故死多発非常事態宣言を行う。百合が原公園開園。市立札幌病院で第2次救急医療スタート。北海道開拓の村オープン。京都市の人口を抜く（全国第5番目の大都市）。	初の比例代表制選挙（参議院旧全国区）を実施。
59年	第3次5年計画（59～63年度）策定。札幌国際見本市開催。豊平川さけ科学館オープン。人口150万人突破。	
60年	札幌市スノーピア計画策定。初の女性消防士採用。上・下水道料金オンライン化。札幌市行政改革大綱まとまる。駒岡清掃工場操業開始。	科学万博つくば'85開催。 男女雇用機会均等法成立。
61年	第1回アジア冬季競技大会、'86さっぽろ花と緑の博覧会開催。札幌21世紀構想策定。札幌芸術の森一部オープン。札幌市エレクトロニクスセンターオープン。	
62年	スパイクタイヤ使用規制条例制定。全国高校総体開催。	新生JRスタート。
63年	札幌市創建120年。第3次札幌市長期総合計画（平成17年目標）、札幌市5年計画（昭和63～平成4年度）策定。鉄道高架、地下鉄東豊線栄町～豊水すすきの間開通。こども劇場やまびこ座オープン。	青函トンネル開業。本四架橋・瀬戸大橋開通。
平成元年 (1989)	白石、西区の分区により、9区体制へ移行。第44回国民体育大会（はまなす国体）開催。札幌市社会福祉総合センターオープン。	昭和天皇崩御。消費税スタート。

年号	札幌市の沿革	国内の主な出来事
平成2年 (1990)	第2回アジア冬季競技大会開催。定山溪ダム供用開始。ノボシビルスク市と姉妹都市提携調印。PMF（パシフィック・ミュージック・フェスティバル）開催。区の個性あるまちづくり事業開始。	
3年	札幌ユニバーシアード冬季大会開催。札幌市立高等専門学校開校。新中央図書館・埋蔵文化財センター開館。ミュンヘン大橋開通。動物科学館オープン。	雲仙・普賢岳で火砕流。バブル景気崩壊。
4年	第2次5年計画（4～8年度）策定。地下鉄需要喚起推進。街づくりサッポロ会議から提言書提出。平和都市宣言。	道産子宇宙飛行士・毛利さん宇宙へ。PKO法成立、自衛隊海外派遣。
5年	「さっぽろ・ダイエット・プラン」スタート。札幌市中央健康づくりセンターオープン。札幌市児童福祉総合センターオープン。農試公園屋内広場完成。	Jリーグ開幕。皇太子御成婚。細川連立政権誕生。奥尻・釧路沖で大地震発生。
6年	「高齢者保健福祉計画」スタート。「人にやさしい交通対策」スタート。地下鉄東豊線豊水すすきの～福住間開通。	コメ不足で外国米緊急輸入。
7年	第3次5年計画（8～12年度）策定。「さとらんど」オープン。「札幌市環境基本条例」施行。芸術の森アートホールオープン。市立札幌病院移転新築。「障害者福祉計画」、「地域福祉社会計画」策定。	阪神淡路大震災発生。地下鉄サリン事件。米大リーグ・ドジャーズ野茂投手新人王に。
8年	「札幌子育て支援計画」策定。第5回全国知的障害者スポーツ大会「ゆうあいピック北海道大会」開催。札幌国際交流館オープン。JFL「コンサドーレ札幌」誕生。	O-157が猛威。沖縄米軍基地縮小で日米合意。
9年	豊平区の分区により、10区制へ移行。札幌コンサートホール（Kitara）オープン。	消費税率5%へ。大型金融機関相次いで破綻。
10年	札幌市創建130年。「行財政改革推進計画」、「新地域防災計画」、「環境基本計画」を策定。定山溪自然の村オープン。時計台新装オープン。札幌ドームの建設着手。資源物収集の開始。	長野五輪で日本「金」5個。
11年	地下鉄東西線琴似～宮の沢間開通。川下公園オープン。消防学校開校。八剣山トンネル開通。芸術の森第三期整備完了。	東海村の核燃料施設で臨界事故。
12年	第4次札幌市長期総合計画（32年目標）、第1次5年計画（12～16年度）策定。環境影響評価条例施行。情報公開条例改正施行。都市景観条例全面施行。札幌駅南口広場完成。ウィンタースポーツミュージアム、生涯学習総合センターオープン。	有珠山噴火。公的介護保険制度スタート。雪印乳業食中毒事件。沖縄サミット開催。
13年	福祉のまちづくり推進指針作成。オンブズマン制度発足。都心交通ビジョン・都心まちづくりビジョン公表。札幌ドーム「HIROBA」オープン。環状通エルムトンネル開通。緑の保全と創出に関する条例制定。市全庁でISO14001認証取得。	牛海綿状脳症感染確認。ハンセン病で原告勝訴。テロ対策特別措置法成立。

年号	札幌市の沿革	国内の主な出来事
平成14年 (2002)	札幌市産業振興センターオープン。札幌市市民情報センターオープン。札幌市都市経営基本方針策定。2002年第6回DPI世界会議・札幌大会開催。2002年FIFAワールドカップ札幌開催。	北朝鮮日本人拉致事件発覚。
15年	「さっぽろ元気ビジョン」を策定。出前講座がスタート。札幌コンベンションセンターオープン。モエレ沼公園「ガラスのピラミッド」完成。	イラク戦争勃発、自衛隊の派遣決定。
16年	「札幌元気基金」を創設。プロ野球「北海道日本ハムファイターズ」誕生。新まちづくり計画の策定。87カ所の出張所・連絡所を「まちづくりセンター」に改編。モエレ山の完成。	新潟県中越地震の発生。
17年	「札幌元気ファンド」設立。視聴覚障がい者情報センターオープン。モエレ沼公園グラウンドオープン。自閉症者自立支援センター「ゆい」オープン。配偶者暴力相談センター開設。「ポイ捨て等防止条例」施行。「ススキノ条例」施行。	尼崎でJR脱線・衝突事故。愛知万博開催。知床世界遺産登録。
18年	札幌市立大学開学。SAPPORO ショートフェスト（第1回札幌国際短編映画祭）開催。プロ野球「北海道日本ハムファイターズ」日本一。「札幌市自治基本条例」制定（19年4月1日施行予定）。	トリノ五輪フィギュアスケート女子で日本初の「金」。北朝鮮が核実験実施。
19年	FISノルディックスキー世界選手権札幌大会の開催。プロ野球「北海道日本ハムファイターズ」パリーグ連覇。第2次札幌新まちづくり計画策定。	新潟県中越沖地震の発生。全国各地で食品偽装相次ぐ。石油価格高騰。
20年	札幌市創建140年。「札幌市市民まちづくり活動促進条例」施行。「札幌市子どもの最善の利益を実現するための権利条例」制定。「環境首都・札幌」宣言。「さっぽろオータムフェスト2008」開催。	北海道洞爺湖サミット開催。後期高齢者医療制度スタート。非正規雇用者の失業問題が深刻化。
21年	市営地下鉄でICカード乗車券SAPICAのサービス開始。創成川通アンダーパス開通。子どもアシストセンター設置。家庭ごみ有料化などの新ごみルール開始。「ねんりんピック北海道・札幌2009」開催。さっぽろ芸術文化の館オープン。	新型インフルエンザ流行。定額給付金実施。裁判員裁判スタート。
22年	APEC貿易担当大臣会合を開催。区役所の税務部門を統合した市税事務所を市内5か所に開設。韓国大田広域市と姉妹都市提携を締結。	FIFAワールドカップ南アフリカ大会で日本代表がベスト16進出。北海道大学の鈴木章名誉教授がノーベル化学賞を受賞。
23年	札幌駅前通地下歩行空間開通。創成川公園オープン。500m美術館常設化。もいわ山観光施設リニューアル。円山動物園「は虫類・両生類館」オープン。第3次札幌新まちづくり計画策定。	東日本大震災の発生、福島第1原発事故。女子ワールドカップドイツ大会で、日本代表「なでしこジャパン」が初優勝。

年号	札幌市の沿革	国内の主な出来事
平成24年 (2012)	「魅力都市さっぽろシティプロモート戦略」策定。PMFオーケストラ中国公演開催。どうぎんカーリングスタジアムオープン。円山動物園「わくわくアジアゾーン」オープン。	金環日食。東京スカイツリー開業。山中伸弥医学博士ノーベル生理学・医学賞受賞。
25年	札幌市まちづくり戦略ビジョン策定。中央図書館に「元気カフェ本の森」オープン。市電に新型低床車両「ポラリス」を導入。公文書館オープン。ユネスコ創造都市ネットワーク加盟。	2020年夏季オリンピック・パラリンピックの開催都市が東京に決定。富士山が世界文化遺産に登録。
26年	札幌市青少年科学館リニューアルオープン。ポートランド姉妹都市提携55周年記念事業。札幌市北3条広場オープン。札幌国際芸術祭2014開催。	消費税が5%から8%に増税。富岡製糸場と絹産業遺産群の世界文化遺産登録決定。
27年	大通交流拠点広場供用開始。札幌市立開成中等教育学校開校。JA全農世界女子カーリング選手権札幌大会2015開催。札幌市路面電車ループ化開業。まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2015策定。	明治日本の産業革命遺産の世界文化遺産登録決定。マイナンバー制度導入開始。
28年	札幌市豊平館リニューアルオープン。第17回世界冬の都市市長会議開催。円山動物園「アフリカゾーン」グランドオープン。まちなかキッズサロン「おどりんこ」オープン。白石区複合庁舎供用開始。	北海道新幹線青森駅～新函館北斗駅間開通。選挙権を20歳から18歳に引き下げ。平成28年熊本地震の発生。
29年	2017冬季アジア札幌大会開催。札幌オリンピックミュージアムオープン。市立札幌みなみの杜高等支援学校開校。札幌市パートナーシップ宣誓制度開始。札幌国際芸術祭2017開催。No Maps 2017開催。	「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の世界文化遺産登録決定。
30年	札幌市創建150年。「札幌市子どもの貧困対策計画」策定。円山動物園「ホッキョクグマ館」オープン。「ここシェルジュSAPPORO」開設。「さっぽろ創世スクエア」グランドオープン。JR苗穂駅自由通路及び橋上駅舎供用開始。	平昌五輪で北海道出身の9選手がメダルを獲得し、道民栄誉賞を受賞。女子テニスの大坂なおみ選手が全米オープン女子シングルスで初優勝。平成30年北海道胆振東部地震発生。
令和元年 (2019)	「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2019」策定。「さっぽろ連携中枢都市圏」の形成。ラグビーワールドカップ2019TMが札幌ドームで開催され、2試合が行われる。	消費税率が10%に引上げ。百舌鳥・古市古墳群が世界遺産登録。
2年	「LEED for Cities and Communities」プラチナ認証の取得。「さっぽろ受動喫煙防止」宣言。「犯罪被害者等支援制度」の創設。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大。東京2020オリンピック・パラリンピックの開催が1年延期に。
3年	「札幌イノベーションファンド」を設立	東京2020オリンピック・パラリンピックのマラソン・競歩競技が札幌で開催。
4年	札幌市制100周年。「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン(ビジョン編)」策定。	

年号	札幌市の沿革	国内の主な出来事
令和5年 (2023)	<p>産学官金連携コンソーシアム「Team Sapporo-Hokkaido」設立。</p> <p>「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2023」策定。</p>	<p>新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行。</p> <p>大谷翔平選手が、大リーグ史上初めて満票で2回目のMVP受賞。</p>

